やはぎっ子だより

令和４年３月16日・24日
小田原市立矢作幼稚園
園　長　　山田　加居

早いもので、令和３年度が終わろうとしています。今年度も新型コロナウイルスとの共存を考えながらの１年間となりました。それでも、子どもたちは、友達と一緒に、笑顔いっぱいで過ごしてくれました。楽しかった思い出を大切にしながら、年長さんは小学校１年生に向かって、年少さんは年長に向かって、新しい一歩を踏み出してください。

こんな子どもに！＝めざす子ども像
＝教育目標

やさしい心をもって、身近な動植物に関わる子
はきはきと自分の考えや思いを表現する子
ぎもんや興味関心をもち、挑戦する子

第３学期は、年少さんにとっては１年の集大成として、年長さんにとっては幼稚園生活の集大成として、これまで積み重ねてきた力をフルに発揮してくれました。
『**や・は・ぎ**っ子』として、一人一人が大きく成長しました。

★矢作の良さを活かした保育の実践★
＊幼児を取り巻く環境と関わりがもてる保育の実践＊
（『やはぎはあと』の実践）

第３学期は、これまでの経験を活かして、子どもたちが、自分の力で周りの環境に関わる姿が見られました。『前こうやったから、今度はこうしてみよう』と、やってみたいこと・行ってみたいところ…を実現させていました。

★重点目標　＊具体的な取り組み

《自然環境》

身近な自然に親しみ、四季の変化や地域の自然に興味関心をもつ

ニンジンの栽培活動以来、栽培への関心が深まり、タマネギやジャガイモの栽培や第２学期に植えたコマツナやホウレンソウ・パセリの世話や収穫を行いました。間引きしたコマツナは、色水遊びで青汁づくりに…。

タイミングよく、氷づくりに成功しました！

買ってきたフィルターに交換！金魚も嬉しそう！

ホームセンターの道中にナノハナを発見！

《社会環境》

毎月行っている避難訓練。火事の想定で、園外へ避難。消防本部から水消火器を借用し、職員全員が体験し、その様子を子どもたちも見学しました。

地域にはいろいろな人がいること、仕事があることを知り、遊びに取り入れたり、憧れや感謝の気持ちをもったりする

就学前交通教室では、小学校入学を前に交通ルールの確認を。ホームセンターへの買い物では、教えてもらったことを即実践！

年少・年長一緒にマロニエに散歩に。遊具で遊んだり、霜柱を見つけて集めたり…。
年長児は、芝生で弁当も食べてきました。

《人間環境》

自分の生活に関係の深いいろいろな人とふれあう中で、親しみをもち、人と関わる楽しさを味わっている

保育参加では、年少児は、『壁掛け（伝言ボード）』を、年長児は『カレンダー』を製作しました。親子で、設計図を考えてつくり、必要な材料を集め、当日も親子で協力してつくる姿が見られました。どれも素敵な作品に出来上がりました。

卒園式予行練習の後、年少児から…。卒園式に付けるコサージュがプレゼントされました。

年長児からは、年少児に『キンギョの飼育セット』と『年長になったらがんばってほしいこと』が託されました。

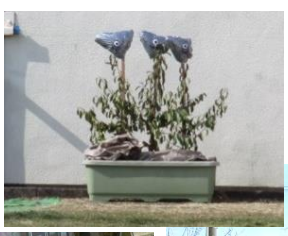
保護者ボランティア『ひまわり劇団』の公演に、子どもたちは大喜びでした！

職員室で園長先生と弁当を食べ、製作を。今年は『CDコマ』をつくりました。

《文化(歴史伝統)》

地域や季節の行事を知り、興味関心をもち、関わろうとしている

かるたやトランプ、すごろくなど、友達と一緒に遊ぶことで、そのおもしろさや勝敗を巡る感情や文字・数字への関心が高まっていました。『凧は上がるからおもしろい！』まずは既成の物で体験し、実感し、自分でつくることにつながっていきました。



「鬼になりたい！」と節分に向けて金棒やトラ柄パンツをつくり出し…。子どもたちが考えた豆まきの行事となりました。

今年は保育室の中にひな人形を飾りました。子どもたちと過ごせてひな人形も嬉しそう！砂場には『砂のひな人形』が…！

★戸外での遊びの充実★

＊新型コロナウイルス感染症拡大予防を考慮した環境の在り方について＊
＊主体的な活動につながる環境の在り方について＊
＊五感に働き掛ける環境の在り方について＊

第１・２学期に行ってきた遊びをバージョンアップさせて楽しむ姿が見られました。一つの遊びで終わりではなく、遊びに遊びを重ねて新しい遊びが始まっていました。自分への挑戦も盛んに行われていました。片付け後、年少・年長が一緒に遊ぶことも楽しみました。中でもお気に入りは、『バナナ鬼』と『だるまさんがころんだ』でした。

『鬼とままごと』

『鬼ごっこ』

『鬼とサッカー』

★『自立心』の育成★

＊いろいろな活動を楽しむ＊
＊最後までやり遂げる達成感を味わう＊
＊自信をもって行動する＊

年少・年長がそれぞれに『やはぎっ子げんきっ会パート５（ありがとうの心を込めて）』を行いました。自分はこれをやりたいという思いを強くもちつつ、どうすれば相手が喜んでくれるか・楽しんでくれるかを考えながら、最後までやり遂げる姿が見られました。

卒園式に向けての活動でも、言葉や退場の仕方など一緒に考え、自分たちのこととして取り組む姿が見られました。そんな年長児の姿を年少児は目に焼き付けていました。

★『自然との関わり』の中で生命尊重の気持ちを育む★

＊五感を使って、園舎内外の身近な自然や動植物と関わる＊
＊自然への愛情や畏敬の念、生命の不思議さや尊さに気付く＊

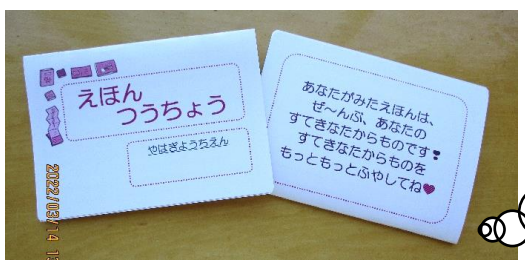
季節が巡り、子どもたちの遊びにも春がやってきました。４月に楽しんでいた小さな生き物探しが再び始まりました。出掛ける前に「捕まえた後はどうするの？」と尋ねると、「育てる。」「元のところに逃がす。」と。子どもなりに小さな命を感じています。

『師匠』と慕う農家の方もお忙しい中、子どもに付き合ってくださいました。

★『言葉による伝え合い』の実践★

＊絵本や物語・言葉遊びを楽しむ＊
＊“振返り”の時間の積み重ね＊
＊話をしたり、聞いたりする中で、認め合ったり、伝え合いを楽しんだりする＊

絵本屋さんや教師による読み聞かせは勿論のこと、『遊び』の中での言葉の獲得にも目を張るものがありました。『げんきっ会』の中でもごっこを楽しみながらたくさんの言葉が飛び交っていました。園の絵本貸出しも好調で、毎週のように借りて帰る子も。100 冊まで記入ができる『絵本通帳』を 1 冊使い切った子もいて、嬉しく思いました。



もらっていない人がいたら、声を掛けてくださいね。宝物になりますよ！

子どもの育ちを支える姿勢

命
『子どもの命を最優先に守ります』

地　域
『地域ぐるみで、子どもを育てます』

信　頼
『互いに信頼し合える関係を築きます』

お陰様で、大きな事故・怪我もなく、第３学期も過ごすことができました。新型コロナウイルス感染症拡大予防にもご協力をいただき、ありがとうございました。

２月に予定されていました幼稚園関係者委員会は残念ながら中止となりました。書面にてこの１年の振返りを報告し、アンケートをお願いしました。その結果、『矢作幼稚園は、子どもたちの考えることややってみたいと思うことをやらせてみるところらしい』『矢作幼稚園の良いところを生かした園、親子が安心して通える園であってほしい』『矢作幼稚園の子どもたちは、人との関わりを喜びながら体全体で動き、感じ、考えていることが読み取れる』等のご意見をいただきました。また、『挨拶のできる子どもになってほしい』という要望をいただきました。来年度につなげていきたいと考えています。

家庭から・幼稚園からとそれぞれ立ち位置は違いますが『子どものため』という共通の思いをもっての１年間を過ごさせていただき、ありがとうございました。立ち位置が違うと見え方も違いますが、ぜ〜んぶ合わせて一人の子どもです。これから見えてくる姿も楽しみです。１年間たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。